

7月3日 の海外相場									
COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)	
Open		4,049.2		59.470		1,577.9		1,220.0	
High		4,157.1		61.595		1,639.7		1,282.5	
Low		4,042.8		59.465		1,577.9		1,217.0	
Settlement		4,125.7		60.643		1,618.4		1,272.5	
Change		43.3		0.558		27.4		49.1	
EFP		\$12.00	\$13.00	¢ 25.00	¢ 35.00	\$7.00	\$14.00	\$2.00	\$8.00

Fixing Prices		
LBMA/LPPM Fixing (\$)	AM	PM
Gold	4,171.25	416,415.00
Silver	62.255	-
Platinum	1,666.80	1,648.90
Palladium	1,285.15	1,276.90

コメント

Precious Metal
 金：小幅上昇 銀：小幅上昇 プラチナ：横ばい パラジウム：横ばい
 貴金属市場は、米国市場の休場に伴い取引参加者が限られたことから、全体として方向感を欠く横ばい圏での推移となった。金と銀はアジア時間に小幅に上昇する場面が見られたものの、欧米時間に入ると横ばいとなった。プラチナとパラジウムも材料難から終日横ばいとなり、主要中銀のタカ派姿勢や中東情勢の長期化といったマクロ環境を織り込みつつも、週明けの本格的な市場再開を前にした持ち高調整と値固めの1日となった。

FX
 ドル円：上昇 ユーロドル：上昇
 ドル円は、政府・日銀による為替介入への警戒感に伴い、乱高下したのちに持ち直す展開となった。アジア時間には、市場の不意打ちを狙った円買い介入への過度な恐怖から円を買い戻す動きが強まり、一時160.49円と約2週間ぶりの安値（円高）まで急伸した。その後、日銀が公表した当座預金残高の見直しによって、前日の円高急進は介入によるものではなかったとの見方が広がると、不意打ち介入に対する警戒感が弱まった。日米金利差を背景とした実需の円売り・ドル買いが再燃し、一時161.39円付近まで値を戻した。なお、ユーロドルはECB高官らのインフレ警戒発言を支えに一時1.1462ドルまで上昇したものの、レジスタンスに阻まれ伸び悩んだ。
 ドル円：161.30 ユーロドル：1.1440

7月6日 週の経済指標一覧									
07/06 (月)		07/07 (火)		07/08 (水)		07/09 (木)		07/10 (金)	
Americas	アメリカ・ISM非製造業景気指数 06月	アメリカ・貿易収支 05月			アメリカ・FOMC議事録 06月				
	前 54.5 予	前 -559億ドル 予		前 予	前 予		前 予	前 予	
					アメリカ・中古住宅販売件数 06月 [中古住宅販売件数]				
	前 予	前 予		前 予	前 予		前 予	前 予	
	前 予	前 予		前 予	前 予		前 予	前 予	
APAC				NZ・NZ中銀政策金利 07月					
				前 2.25% 予		前 予	前 予	前 予	
EMEA									

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉					
2026/6/23	Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)	
Long	25.0	301.7	1,598.1	948.4	
Short	5.6	102.7	667.9	1,233.6	
Net	19.4	199.0	930.3	-285.2	
Change	-0.5	-11.4	1.0	-17.2	

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。